

# 廃校シェアハウス ～須崎にきいやプロジェクト～

福間ゼミ

大崎明日香  
塩崎勇斗  
菅野開斗  
須藤真梨  
丸川日花里

# 須崎市の現状

須崎市人口(令和2年3月末現在)

男性 10,304人 女性 10,838人 総計 21,142人

世帯数 10,611世帯

出典:須崎市ホームページ

- 介護老人福祉施設等数 **38か所**
- 75歳以上1000人あたりの介護老人福祉施設等数 8.71か所  
(全国平均12.52か所)
- 介護職員 **約270人**
- 75歳以上1000人あたりの介護人員数 62.27人  
(全国平均74.52人)

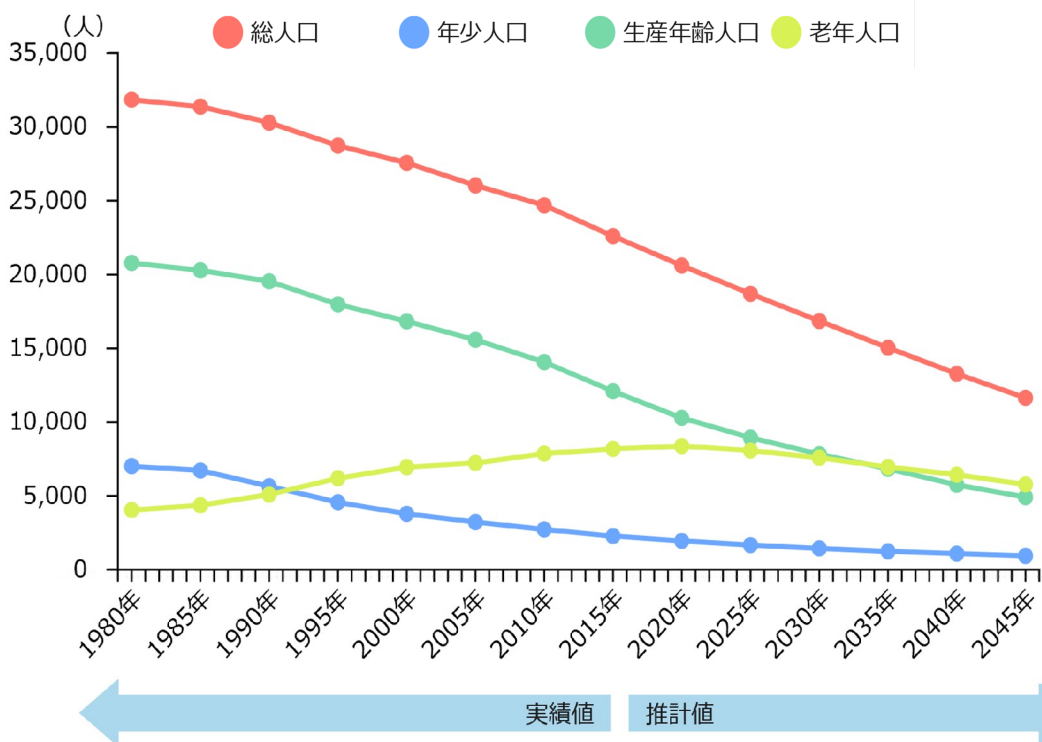
全国に比べて介護施設  
数と介護職員数が不足

出典:地域医療情報システム

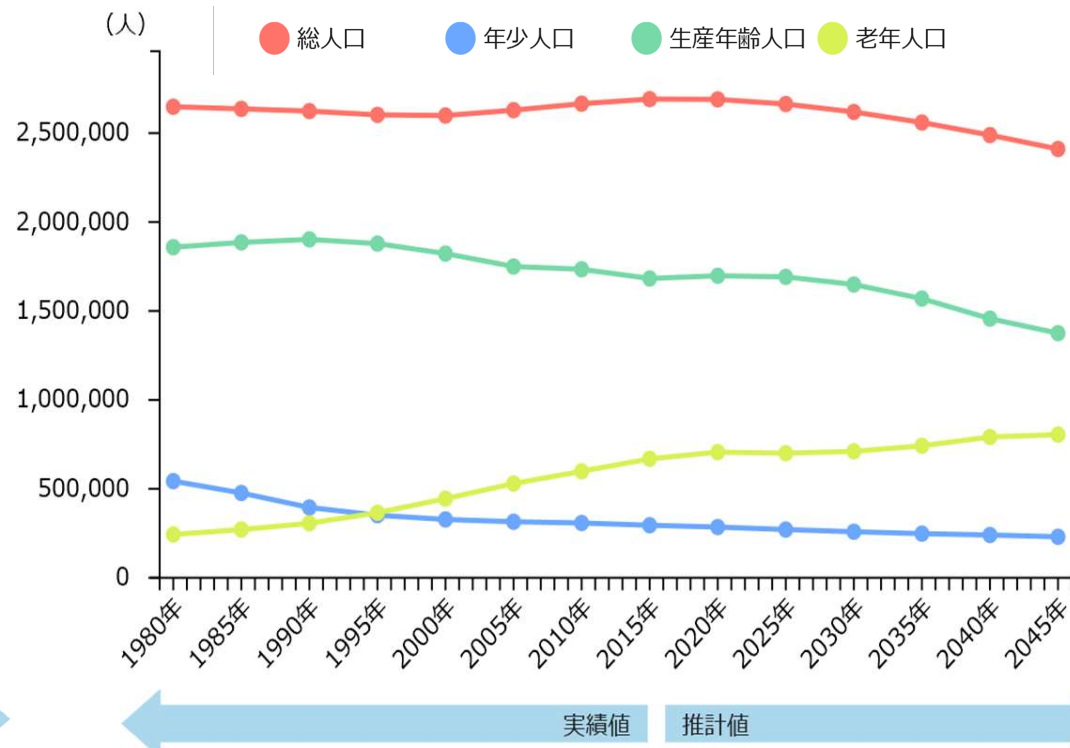
# 人口推移

## 〇須崎市の人口減少

### 須崎市

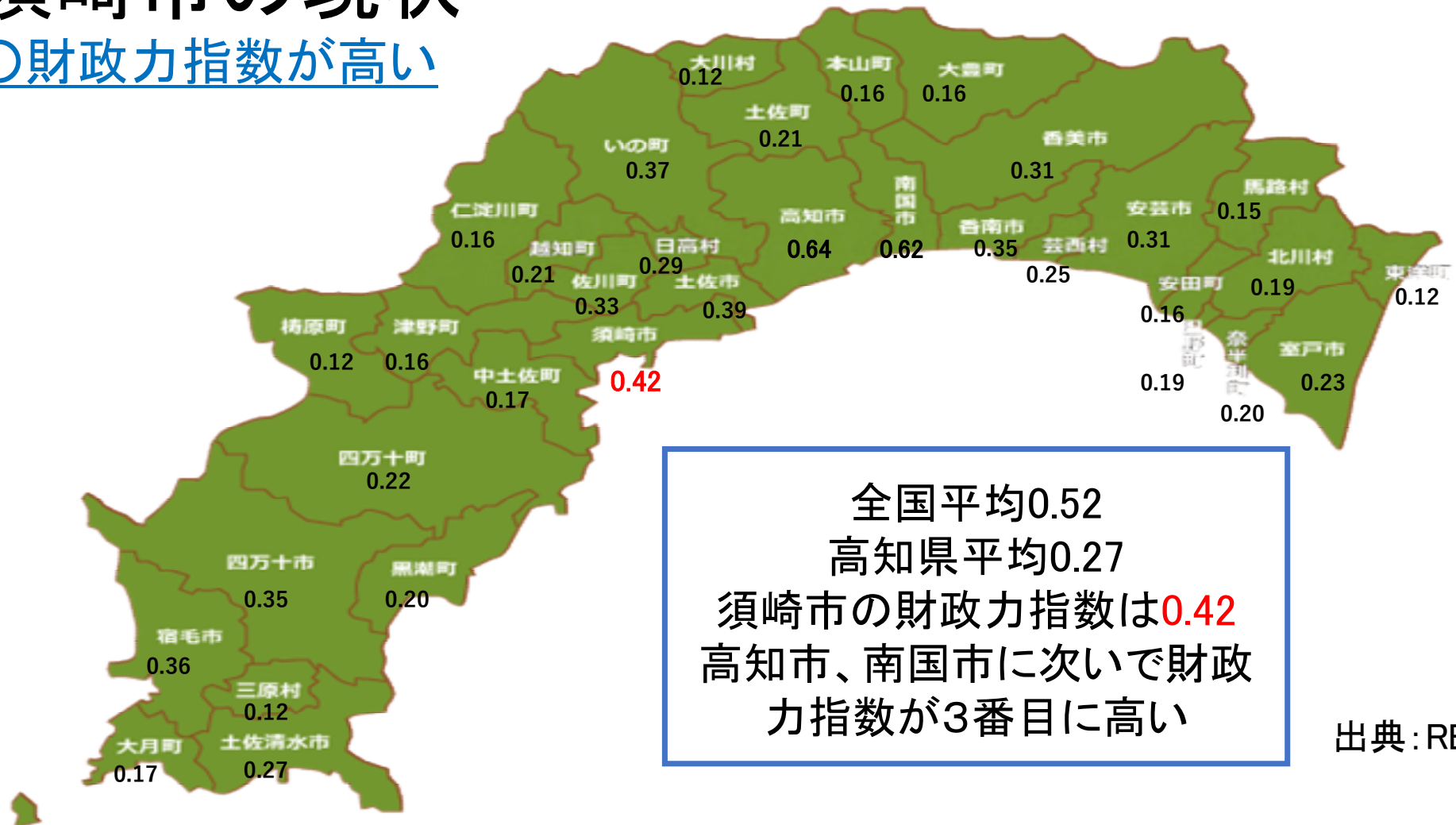


### 大阪市



# 須崎市の現状

○財政力指数が高い



出典: RESAS

# 大阪市の現状（シングルマザー）

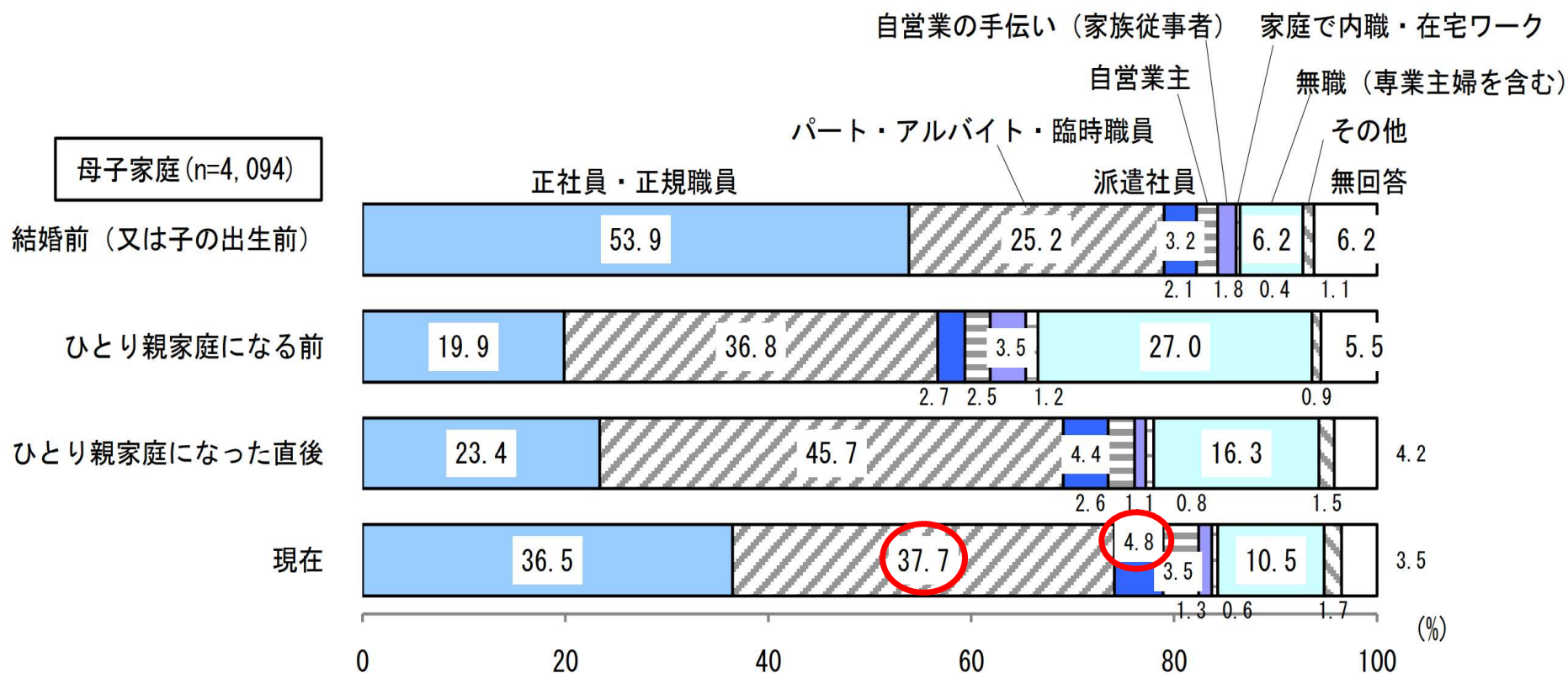
## ○母子世帯数が多い

- 大阪府の離婚件数 約1万7000件
- 大阪府の離婚率 1.93%  
全国の離婚率 1.68 %  
(離婚率＝人口1000人あたりの1年間の離婚件数)
- 母子世帯数  
大阪市母子家庭世帯数 **38,976世帯(約2.89%)**  
全国母子家庭世帯数 約75万世帯(約1.42%)  
全国平均母子家庭世帯数 約1,6万世帯

出典：第四次大阪府ひとり親家庭等自立促進計画案、平成27年度国勢調査、平成30年度大阪市ひとり親家庭等実態調査、厚生労働省平成30年人口動態統計

# 大阪市の現状（働く環境）

## ○非正規労働者が多い

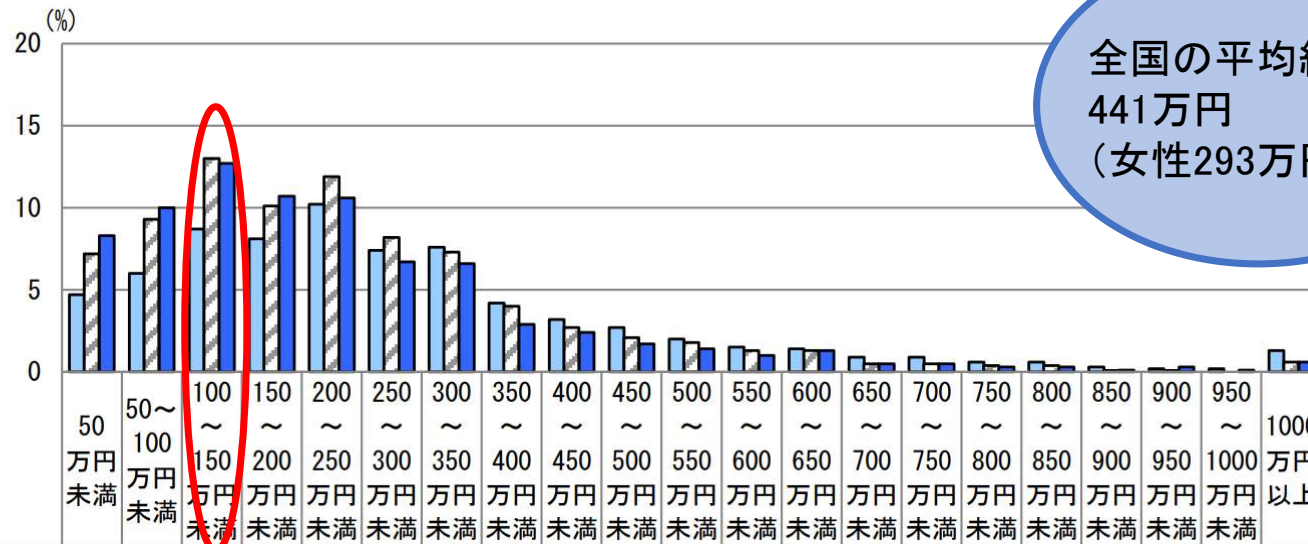


出典：平成30年度大阪市ひとり親家庭等実態調査

# 大阪市のシングルマザー収入

## ○収入が少ない

母子家庭 (n=4, 094)



全国の平均給与は  
441万円  
(女性293万円)

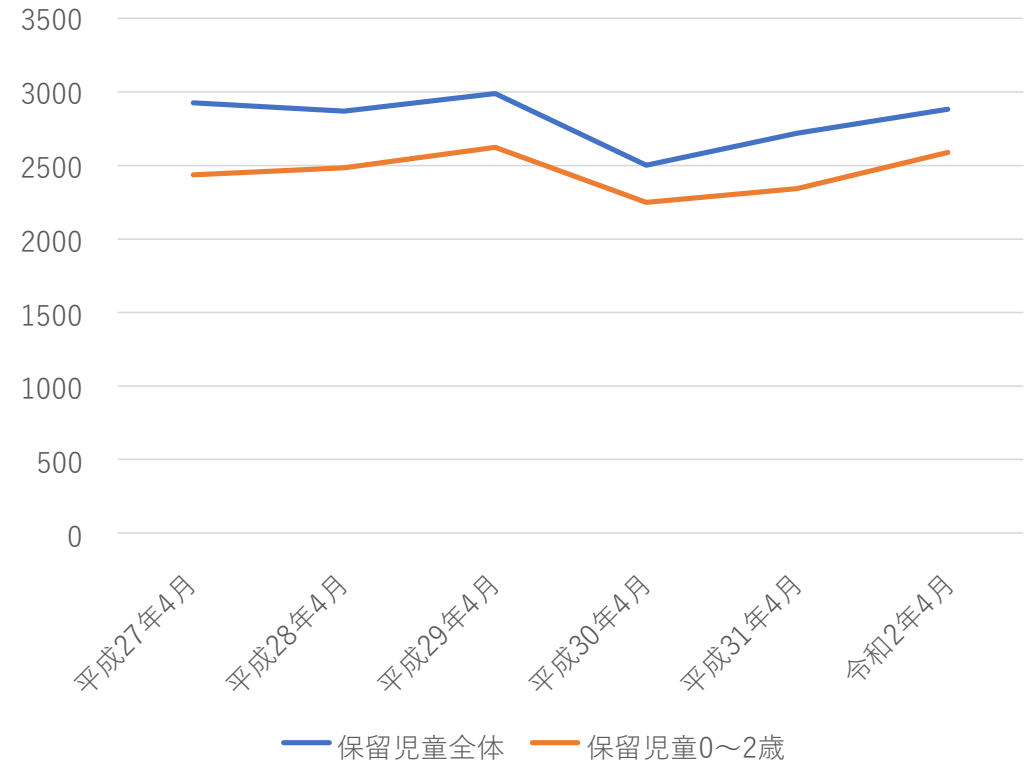
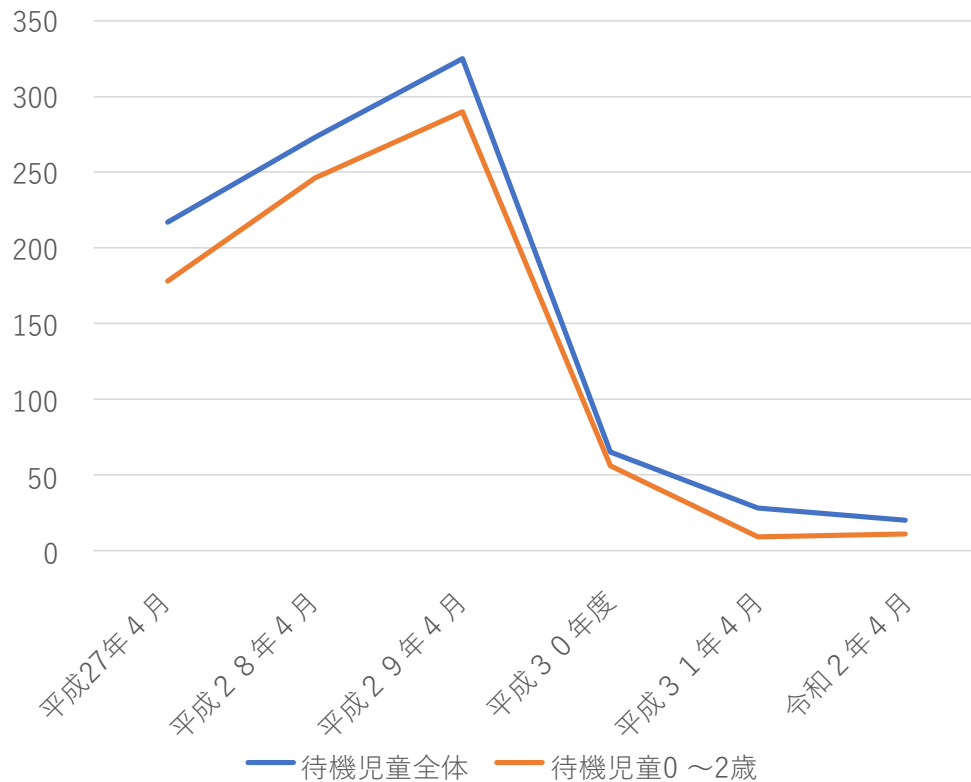
	50万円未満	50~100万円未満	100万円~150万円未満	150万円~200万円未満	200万円~250万円未満	250万円~300万円未満	300万円~350万円未満	350万円~400万円未満	400万円~450万円未満	450万円~500万円未満	500万円~550万円未満	550万円~600万円未満	600万円~650万円未満	650万円~700万円未満	700万円~750万円未満	750万円~800万円未満	800万円~850万円未満	850万円~900万円未満	900万円~950万円未満	950万円~1000万円未満	1000万円以上
同居親族を含む自身の世帯の年間総収入	4.7	6.0	8.7	8.1	10.2	7.4	7.6	4.2	3.2	2.7	2.0	1.5	1.4	0.9	0.9	0.6	0.6	0.3	0.2	0.2	1.3
うち、自身の年間総収入	7.2	9.3	13.0	10.1	11.9	8.2	7.3	4.0	2.7	2.1	1.8	1.3	1.3	0.5	0.5	0.4	0.4	0.1	0.1	0.0	0.6
うち、自身の年間就労収入	8.3	10.0	12.7	10.7	10.6	6.7	6.6	2.9	2.4	1.7	1.4	1.0	1.3	0.5	0.5	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6

出典:平成30年度大阪市ひとり親家庭等実態調査  
平成30年分民間給与実態統計調査

# 大阪市の現状（子育て環境）

## ○子どもを預ける環境が十分でない

須崎市は待機児童・保留児童ともにゼロ  
→認可保育園に入れる



出典：大阪市ホームページより作成



# 須崎市の現状(子育て環境)

- 第2子保育料減免

18歳未満の子どもを2人以上養育している世帯の**第2子以降保育料減額**

- 子育て医療応援事業

**子どもの医療費無料**(0歳児から中学校卒業まで)

- ひとり親家庭医療費助成事業

18歳未満の子どもがいる**ひとり親家庭**や両親のいない子どもとその養育者の医療費のうち、**保険診療自己負担額相当額を助成**

- 安心子育て応援事業

市内2か所に子育て支援センターを設置し、一時預かりや子育て講座など、子育てを行う家庭への支援事業を実施

- 子育て世代包括支援センターの設置

妊娠初期から子育て期における母親の心配事や不安の強い時期に、きめ細やかな支援を行う

# 生活費(生活保護費より算出)

## ○須崎市の生活費が安い

例: 母子家庭、子ども1人(3歳~5歳)、障害なしの場合

### <大阪市>

生活扶助73,520円、児童養育加算10,190円、母子加算18,800円、住宅扶助40,000円 **生活保護費142,510円**

### <須崎市>

生活扶助64,630円、児童養育加算10,190円、母子加算16,100円、住宅扶助29,000円 **生活保護費119,920円**

## 〈課題〉

- 須崎市は人口が減少している
- 須崎市は介護施設数、介護人員数が少ない  
→ **介護人材不足**
- 大阪市のシングルマザーは非正規労働者が多い  
→ **安定した収入がない**  
大阪府のシングルマザー全体の65%が正規職員を希望している
- 大阪市は保留児童が多い  
→ 子どもを預ける環境が十分でない



## 〈目的〉

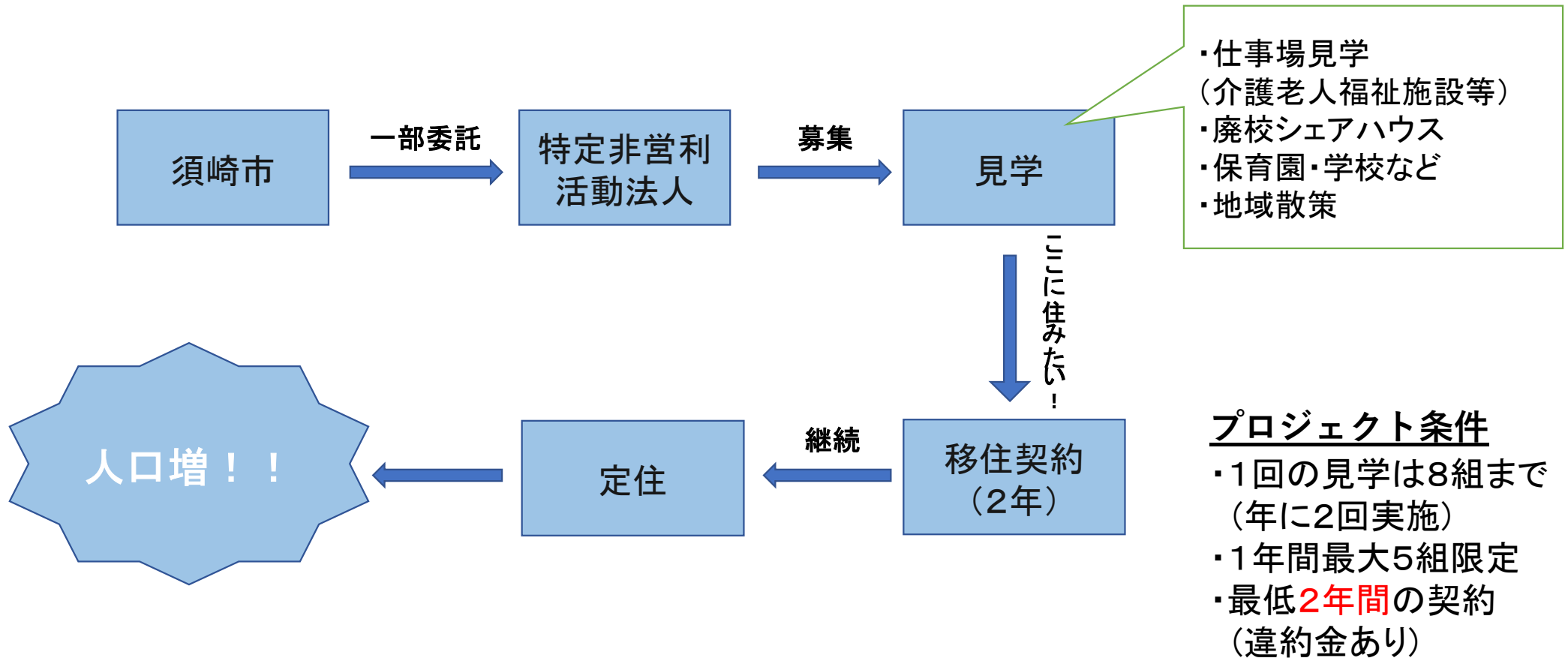
- 大阪で暮らすシングルマザーの須崎市への移住による定住人口の増加
- 須崎市の介護人材の確保

# 廃校舎を活用するメリット

- 地域活性化
- 話題性
- 老朽化を防ぐ
- 校舎の設備を有効活用できる
- 地域住民のコミュニティの場



# 廃校シェアハウスプロジェクトの流れ



1泊2日の

# 廃校シェアハウス見学ツアー



- ・予約制、バスで参加者全員で見学
- ・参加費(宿泊代込み)1世帯:5,000円
- ・食費は自己負担
- ・交通費は須崎市が負担

◎移住前に働く介護施設や地域(家、保育園など)の様子を見学することができる



事前に見学することで、生活のイメージを持つことができる!!

# 見学ツアースケジュール

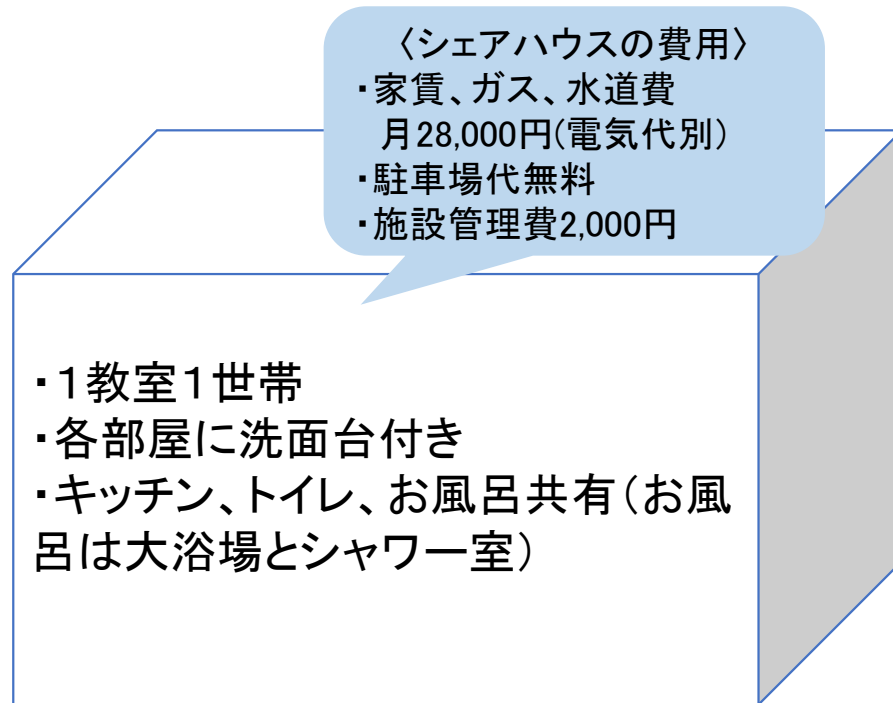
## 【1日目】

時間	場所	内容
8:00	大阪駅	出発
13:00	須崎駅	到着
13:00		須崎市内で昼食
14:00	廃校シェアハウス	シェアハウス内の説明、子どもを預ける
15:00	職場(介護老人福祉施設等)	職場を見学する
18:00	廃校シェアハウス	
19:00	廃校シェアハウス	地域住民や先輩移住者との交流を兼ねた夕食会

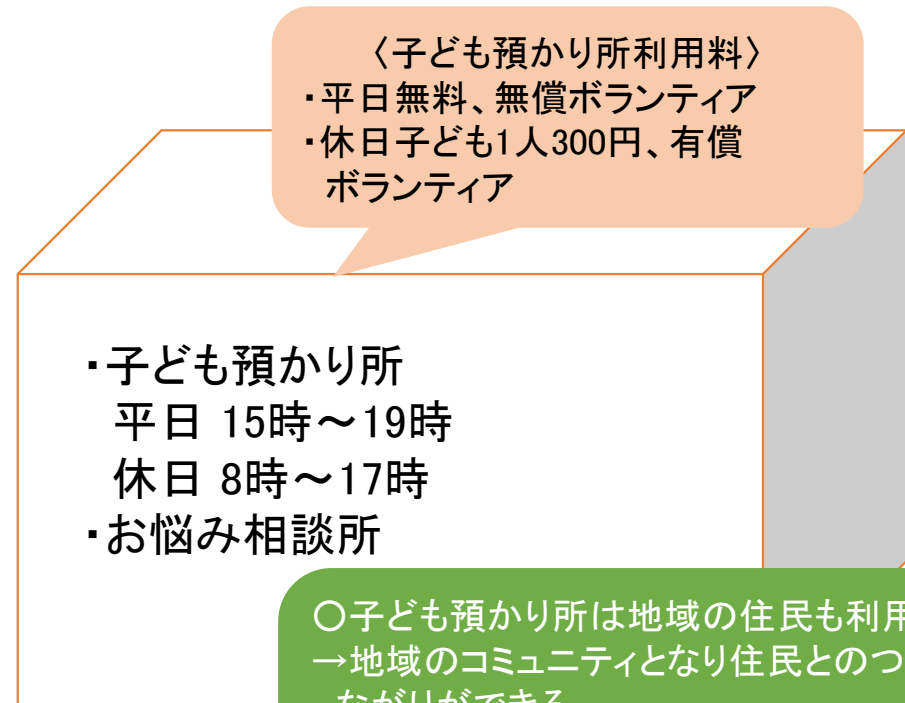
## 【2日目】

時間	場所	内容
10:00	保育園・学校	施設見学
11:00	スーパー・道の駅など	地域見学
12:00	道の駅	道の駅で昼食
13:00	公共施設	地域見学
14:00	須崎駅	出発
19:00	大阪駅	到着

# 廃校シェアハウス見取り図 (モデル: 高知県立須崎高等学校を想定)



居住エリア



コミュニティエリア



# 廃校シェアハウス

## 〈補償〉

- ・自転車もしくは中古軽自動車の**無料提供**（希望者のみ）
- ・引っ越し費用**無利子貸し付け**
- ・**子ども預かり所**
- ・**お悩み相談所**
- ・**仕事の提供（介護職）**
- ・自動車学校の費用（AT限定）10万円補償



# 期待される効果

## ①安定した生活を送ることができる

- ・職場提供による安定した収入
- ・相談しやすい環境
- ・移動手段の確保

## ②子どもの養育環境が整っている

- ・子ども預かり所
- ・保育料減免
- ・医療費の助成
- ・子ども同士の交流
- ・シングルマザー同士の助け合い
- ・校庭が子どもの遊び場

## ③地域住民との交流

- ・子ども預かり所での地域住民との交流
- ・施設内に交流の場がある



地域になじめる



# 想定される課題

- **特定非営利法人への一部委託**  
→ 民生委員・児童委員や地域サロンの世話人、自治会長などの協力を得る
- **子ども預かり所のボランティア**  
→ 須崎市の広報に掲示、あったかふれあいセンター事業の利用者への呼びかけ、高校に広報掲示による学生への呼びかけ
- **市内在住のシングルマザーへの対応**  
→ 廃校シェアハウスにある子ども預かり所やコミュニティを利用できるようにする
- **財源について**  
→ 学校の機能をほとんど残し、改修費用を抑える
- **防犯面**  
→ 居住の場と交流の場を棟で分ける
- **利用者トラブル**  
→ 相談室の相談員が入居者に対して月に一回、定例会を開催する

# 今後の発展の可能性

<中学校> 令和7年度

上分中学校、須崎中学校、南中学校、浦ノ内中学校



4校廃校予定

<小学校> 令和10年度を目途

南小学校、新庄小学校、安和小学校



3校廃校予定

須崎市の小中学校(7校)が廃校予定  
→廃校になる小中学校を廃校シェアハウスとして活用することができる

出典:須崎市小中学校統合計画